

吉永北地区 まちづくり行動計画

吉永北地区まちづくり協議会 令和4年4月発行

本計画は、地区の将来を見据え、各種団体間の連携のもと、地区の課題解決に向け、概ね今後5年間に効果的・効率的なまちづくり活動を地区が一丸となって計画的に実施していくための指針です。

地区の目標とする将来像

高齢者



- アクティブシニアが元気で健康に暮らしている。
- 高齢者が生活しやすい住環境が整っている。

子ども



- 子どもが増えて、元気に遊びまわる姿が見える。
- 地区や学校との連携により子育てサポートが充実している。

生活



- 生活に必要なサービスが充実している。
- 互いに助け合い安心して暮らせる。
- 地区外の人に移住したくなる地域づくりが行われている。
- 地区内の情報共有と連携により協力関係が築かれている。

自然環境



- 自然への理解を高めて、災害に強い安全な暮らしの実現。
- 資源を生かし、地域の魅力を発信する取り組み。
- 農林業を活かしたまちの魅力向上を目指している。

地区の資源

自然・歴史・伝統



鵜無ヶ淵神明宮 御神楽

- 1万歩コースの設立
- 峰山遺跡
- 遺跡・史跡が多い
- 鵜無ヶ淵神明宮 御神楽

産業・特産物



富士ひのきの森

- 林業
- 富士ひのき
- 菜の花

生活環境・施設等



富士山こどもの国

- 富士山こどもの国

地区の現状

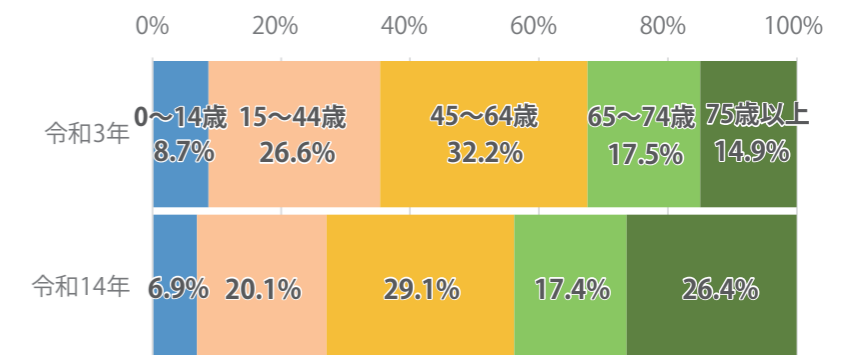
データで見る吉永北

人口・世帯数

吉永北地区 2,818人 1,180世帯
世帯人口 2.39人世帯 (市 2.32人/世帯)

年代分布

少子高齢化がさらに進むと思われる。



●介護認定割合

平成28年 20.3%
平成30年 18.3%
令和3年1月 17.5%

●児童数 (吉永第二小)

平成28年 153人 7クラス
令和3年 113人 6クラス

みんなで支えるまちづくり 夢と希望で 未来へつなぐ

地区の課題・意見

高齢者を取りまく環境について

- 高齢化で活動ができない。
- 少子高齢化が進んだ。
- 行事参加者が少ない。

子どもを取りまく環境について

- 少子高齢化が進んだ。
- 小中学生が参加証明書の関係で参加が増えた。
- 子どもの数が増えない。

生活環境について

- 健診受診率が良くならない。
- 空き家が増えた。未管理のため草などが伸び、虫も増えた。
- コミュニティバスの帰りの足が無い。
- バスの本数が減って、不便になった。
- 近隣のコンビニ、農協が撤退した。
- だれかがやるだろう感。 ● 気温が低い。
- 樹木の枝や葉のゴミが多い。特に強風の翌日。
- 訓練への参加者が増えない。

自然環境・地区資源について

- 休耕地や空き家が増えた。
- 地区の観光資産の維持管理が難しい。
- 新規店舗は1軒だけだった。
- 自然資源を観光などに生かしていない。
- こどもの国との連携が、菜の花の里まつりくらいしかしていない。
- 鳥獣被害が増えている。
- ヤスデなど虫発生被害。

コミュニティについて

- 不参加者が多くなった。
- 回覧板をよく見ない。
- 町内会では解決できない事項への対応。
- 課題への市の支援を考えて欲しい。
- 決められたルールを守らない。
- 道路補修への対応が遅かった。
- 道路整備状況が変わらない。
- 新役員の育成ができず、就任期間が延びている。
- 役員、スタッフが少ない。
- 役員の高齢化、なり手が居ない。
- 町内会未加入世帯が増えた。

活動方針

- 地区広報誌を作成し、地区活動の推進をします。
- 部会制を推進し、各種課題に迅速に対応できるように体制づくりを行います。

- 多くの地区住民が、各種事業に関われるよう部会での企画を支援します。
- まちづくりセンター指定管理者制度について導入を研究・検討します。

総務部会

- スポーツを通じて良好なコミュニティを形成するため、地区全体での体育大会等を開催します。
- 住民の健康増進と住民間の交流を促進するため、スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を設けます。

- 住民が地区内でのウォーキングを気軽楽しめるような機会を提供します。

生涯学習推進部会(保健体育)

- 健全な青少年をつくる事業を開催していきます。
- 世代間を越えた仲間づくりの事業を開催していきます。

- 地区住民の文化・教養を高める事業を開催していきます。
- 1万歩コースを活用した事業を検討します。

生涯学習推進部会(青少年育成・文化教育)、総務部会

- お年寄りへの福祉を高める活動を行います。
- 障害者及び障害児への理解を深める活動を行います。
- 子供たちの福祉力を高め、思いやり、やさしさを育む活動を行います。

福祉部会

- 安全で安心して暮らせる、まちづくりをめざします。
- 交通事故ゼロのまちづくりをめざします。
- 不審者から子供を守る活動を行います。

- 鳥獣害被害を減らすための事業を検討します。

安全・安心部会

- 災害時に備え、各町内会の自主防災会長を中心にした意見交換の場を提供します。
- 地区内における災害時の危険箇所を把握し、ハザードマップの見直しを行います。

防災部会

- 広報紙「おもいやり」の作成
- 部会制の拡充のための企画を検討
- 新しい事業に対応するため、協議会規約の見直し検討
- 課題対応のための手順づくり

- 地区体育祭、球技大会の実施
- 各種スポーツ教室の実施と運営
- スポーツに関する講座の開催
- グラウンドゴルフ大会の開催

- 風の宮まつりの実施 ● あるけあるけ大会の開催
- 夏フェスタIn Yoshinagakita ● 小中学生と語る会の開催の実施
- 文化祭の実施
- 菜の花の里まつりの実施

- 配食配達ボランティアの実施
- グラウンドゴルフの継続
- 小学校と連携した行事の開催
- 車いす貸出事業の実施
- 福祉施設への訪問

- 防犯大会の実施
- 青色パトロール活動の実施
- 小中学生への見守り活動実施
- 新入生防犯ブザー寄贈
- 県下一斉補導への参加

- 9月、12月の防災訓練実施
- 地区防災会議の実施
- 避難所運営マニュアルの啓発

実施事業